再評価結果(平成17年度事業継続箇所)

担 当 課:道路局国道・防災課

担当課長名:鈴木 克宗

事業名 一般国道487号 一般国道 事業 広島県 区分 <u>警固屋音戸バイパス</u> 主体 自:広島県場市警園屋町ょのこ 延長 起終点 至:広島県安芸郡音戸町渡子 2. 9 km

事業概要 ¦

警固屋音戸バイパスは、慢性的な交通混雑の緩和及び交通安全の確保並びに円滑な緊急活動や災害時の緊 急輸送路の確保等を目的とした、延長2.9kmの4車線(暫定2車線)道路である。

都市計画決定なし H 1 O 年度用地着手 H 1 0 年度工事着手 H7年度事業化 全体事業費 | 4 2 0 億円 (関連事業を含めて5 9 0 億円) | 事業進捗率 | 3 0 % | 供用済延長 | O_{km}

計画交通量 4 9,210台/日(平成23年度)

基準年 ¦ 費用便益 B/C | 総費用 📙 (残事業)/(事業全体) 総便益 ! (残事業)/(事業全体) 分析結果 (事業全体) 318/494億円 2, 181/2, 181億円 平成16年 「事 業 費:312/488億円[`] (走行時間短縮便益:1,969/1,969 4.4 (残事業) 6.9 維持管理費: 6/6億円 |走行費用減少便益: 148/ 148億円 |交通事故減少便益: 64/ 64億円

感度分析の結果 └ 残事業(事業全体)について感度分析を実施

交通量変動 : B/C=7.5 (4.9) (交通量+10%) B/C=6.2(4.0)(交通量-10%) 事業費変動 : B/C=6.2 (4.0) (事業費+10%) B/C=7.6 (4.9) (事業費-10%) 事業期間変動: B/C=6.3(4.0)(事業期間+20%) B/C=7.3 (4.8) (事業期間-20%)

事業の効果等

- ・円滑なモビリティの確保(現道における混雑時旅行速度の改善(7.4km/h→50kmが改善される)
- ・他のプロジェクトとの関係(市町村合併(呉市・音戸町)支援

他 6 項目該当

関係する地方公共団体等の意見

慢性的な渋滞は市民生活や経済活動等に深刻な影響を及ぼしている。また平成17年3月には呉市と音 戸町等は合併を予定しており、広域的な連携や地域づくりの推進等のため、早期整備を求められている。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

平成9年度の実態調査によると、音戸大橋交差点は主要渋滞ポイントであり、朝夕の通勤時には、約1, 400mの渋滞がほぼ毎日のように発生している。

事業の進捗状況、残事業の内容等

用地補償が一部難航しているが、引き続き交渉し、早期に完成できるよう事業展開を図る。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

用地補償の進捗を早期に図り、全線にわたった工事を進め、平成22年度に暫定2車線で全線供用予 定である。

施設の構造や工法の変更等

橋梁の一部を盛土構造にして、発生残土の受け入れ地としてコスト縮減を図っている。

対応方針 事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。



凡	例
	供 用 中
	再評価箇所
0000	調査中

